

Cisco MediaSense Search and Playのクロスサイトスクリプティングの脆弱性

Medium	アドバイザリーID : Cisco-SA-20140122-CVE-2014-0670	CVE-2014-0670
	初公開日 : 2014-01-22 19:06	
	バージョン 1.0 : Final	
	CVSSスコア : 4.3	
	回避策 : No Workarounds available	
	Cisco バグ ID : CSCum16686	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco MediaSenseのSearch and Play(Search and Play)インターフェイスの脆弱性により、認証されていないリモートの攻撃者が、該当システムのポータルユーザに対してクロスサイトスクリプティング(XSS)攻撃を実行する可能性があります。

この脆弱性は、パラメータの不十分な入力検証に起因します。攻撃者は、悪意のあるリンクにアクセスするようにユーザを誘導することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。

シスコはセキュリティ通知で脆弱性を確認しましたが、ソフトウェアアップデートは利用できません。

この脆弱性を不正利用するために、攻撃者は、悪意のあるサイトにユーザを誘導するためのリンクを提供したり、誤解させる言葉や指示を使用して、提供されたリンクに進むようにユーザを促す可能性があります。

シスコはCVSSスコアを通じて、機能不正利用コードが存在することを示していますが、このコードが一般に公開されているかどうかは不明です。

該当製品

影響を受ける製品バージョンの完全なリストについては、Cisco Bug ID [CSCum16686](#)を参照してください。

脆弱性のある製品

このアラートが最初に公開された時点では、Cisco MediaSenseバージョン9.1(1)以前には脆弱性が存在していました。Cisco MediaSenseの新しいリリースにも脆弱性が存在する可能性があります。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

回避策

今後のアップデートやリリースについては、ベンダーに連絡することを推奨します。

ユーザは、Webサイトにアクセスしたり、疑わしい特性を持つリンクや安全であると確認できないリンクにアクセスしたりしないようお勧めします。

クロスサイトスクリプティング(XSS)攻撃と、これらの脆弱性を悪用する方法の詳細については、Cisco適用対応策速報の『[クロスサイトスクリプティング\(XSS\)の脅威ベクトルについて](#)』を参照してください。

IPベースのアクセスコントロールリスト(ACL)を使用して、信頼できるシステムだけに該当システムへのアクセスを許可することを検討することもできます。

影響を受けるシステムを監視することを推奨します。

修正済みソフトウェア

ソフトウェアの更新プログラムは利用できません。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/Cisco-SA-20140122-CVE-2014-0670>

改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初版リリース	適用外	Final	2014年1月22日

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。